

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		●評価項目 ☐ ☐ 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 ☐ ☐ 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 ☐ ☐ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 ☐ ☐ 現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 ☐ ☐ 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 ☐ ☐ 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 ☐ ☐ 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 ☐ ☐ 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 ☐ ☐ 下請に対する引き取り(完成)検査を書面で実施していることが確認できる。 ☐ ☐ 品質証明体制が確立され、関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 ☐ ☐ 工事の関係書類を不足無く整理していることが確認できる。 ☐ ☐ 社内の管理基準の設定、管理方法が明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。 ☐ ☐ 電気設備等について、設備更新時の新旧設備の切り替え作業を、作業手順書やチェックリストにより適切に実施していることが確認できる。 ☐ ☐ その他 理由：			☐ 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。 該当すれば「d」評価とする。	☐ 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 該当すれば「e」評価とする。
		●判断基準 評価値が90%以上…………… a ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満…… b ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数÷(0)評価対象項目数 評価値が80%未満…………… c ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。				

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c	④	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
		●評価項目 ☐ ☐ 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 ☐ ☐ 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 ☐ ☐ 出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。 ☐ ☐ 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 ☐ ☐ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 ☐ ☐ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 ☐ ☐ その他 理由： ☐ 出来形の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば「d」評価とする。 ☐ 出来形が不適切であった為、契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 該当すれば「e」評価とする。						
		●判断基準 評価値が90%以上..... a ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満..... a' ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 評価値が70%以上80%未満..... b ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が50%以上60%未満..... c 評価値が50%未満..... d ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。						

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c	④	e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
	建築工事	●評価項目 ☐ ☐ 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ☐ ☐ 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ☐ ☐ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ☐ ☐ 内外仕上り工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ☐ ☐ その他の工事(躯体・内外仕上りを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ☐ ☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ ☐ 中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ☐ ☐ その他 理由:					☐ 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば「d」評価とする。	☐ 品質が不適切であった為、契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 該当すれば「e」評価とする。
	●判断基準 評価値が90%以上..... a ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満..... a' ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 評価値が70%以上80%未満..... b ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が50%以上60%未満..... c 評価値が50%未満..... d ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。							

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c	④	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 電気設備工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		●評価項目 ☐ ☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ☐ ☐ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ☐ ☐ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 ☐ ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法等が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ☐ ☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ ☐ 中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ☐ ☐ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 ☐ ☐ その他 理由：					☐ 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば「d」評価とする。	☐ 品質が不適切であった為、契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 該当すれば「e」評価とする。
		●判断基準 評価値が90%以上…………… a ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満…………… a' ② 評価値(0 %)＝(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 評価値が70%以上80%未満…………… b ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 評価値が60%以上70%未満…………… b' 評価値が50%以上60%未満…………… c 評価値が50%未満…………… d ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。						

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c	④	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 機械設備工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		●評価項目 ☐ ☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ☐ ☐ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ☐ ☐ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 ☐ ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法等が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ☐ ☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ ☐ 中間検査や一部完成検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ☐ ☐ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 ☐ ☐ その他 理由: ●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... a' 評価値が70%以上80%未満..... b 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が50%以上60%未満..... c 評価値が50%未満..... d ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。						☐ 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば「d」評価とする。

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c	④	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 解体工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		●評価項目 ☐ ☐ 施工計画書に定められた手順・機械により適切に施工されていることが確認できる。 ☐ ☐ ほこり、騒音等に十分な対策を行ったことが確認できる。 ☐ ☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ ☐ 廃棄物の現場搬出及び処分場搬入の写真記録等が適切であることが確認できる。 ☐ ☐ その他 理由： ●判断基準 評価値が90%以上..... a ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満..... a' ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 評価値が70%以上80%未満..... b ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 評価値が60%以上70%未満..... b' 評価値が50%以上60%未満..... c 評価値が50%未満..... d ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。					☐ 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 該当すれば「d」評価とする。	☐ 品質が不適切であった為、契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 該当すれば「e」評価とする。

考査項目	細 別	a	b	©	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
	建築工事	●評価項目 ☐ ☐ きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 ☐ ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ ☐ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 ☐ ☐ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 ☐ ☐ 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 ☐ ☐ 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 ☐ ☐ 保全に配慮した施工がなされている。 ☐ ☐ その他 理由： ●判断基準 評価値が90%以上…………… a 評価値が80%以上90%未満……… b 評価値が80%未満…………… c ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。			☐ 出来ばえが劣っている。 該当すれば「d」評価とする。

※1. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

考査項目	細 別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
	電気設備工事	●評価項目 ☐ ☐ きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 ☐ ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。 ☐ ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなれている。 ☐ ☐ その他 理由: ☐ ☐			☐ 出来ばえが劣っている。 該当すれば「d」評価とする。
	●判断基準 評価値が90%以上..... a ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満..... b ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 評価値が80%未満..... c ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。				

●判断基準

評価値が90%以上..... a

① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。

評価値が80%以上90%未満..... b

② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数

評価値が80%未満..... c

③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。

※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。

 | | ☐ 出来ばえが劣っている。 該当すれば「d」評価とする。 |

※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

考査項目	細 別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
	機械設備工事	●評価項目 ☐ ☐ きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 ☐ ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。 ☐ ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなれている。 ☐ ☐ その他 理由: ☐ 出来ばえが劣っている。 該当すれば「d」評価とする。			
	●判断基準 評価値が89%以上…………… a 評価値が80%以上89%未満…………… b 評価値が79%未満…………… c ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(0 %)=(0)該当項目数／(0)評価対象項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。 ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。				

☐

出来ばえが劣っている。

該当すれば「d」評価とする。

※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

調査項目	細 別	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
	解体工事	●評価項目 ☐ ☐ 使用材料等が適切に片づけられており、現場に残っていない。 ☐ ☐ 窪みやわだちがなく、整地の仕上がり状態が良好である。 ☐ ☐ 周辺環境への配慮がなされている。 ☐ ☐ 進入路や隣地境界との ☐ ☐ その他 理由: ☐ 出来ばえが劣っている。 該当すれば「d」評価とする。			
		●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満..... b 評価値が80%未満..... c ① 評価対象外の項目がある場合は、評価対象外項目を除いた評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(0 %)＝該当項目数(0)／評価対象項目数(0) ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当しても「c」評価とする ※左側チェックボックスは評価項目対象欄とし、右側チェックボックスは加点欄とする。			